

令和7年度 数学科授業改善推進プラン

台東区立桜橋中学校

	育成を目指す資質・能力	児童・生徒の実態を踏まえた課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
1年	・正の数と負の数を含む式の計算の定着 ・基礎的な知識及び技能を活用して、数学的思考力を必要とする問題に取り組む力 ・様々な事象を数学的に捉え、判断する力	・授業中に内容を理解しても、実践を重ねる機会が少なく、内容の定着度が低い。 ・令和7年度区学力調査の結果から、比例と反比例及び図形の理解が足りていない。	・生徒同士活動を取り入れ、主体性をもって取り組むような授業展開を行う。 ・単元ごとに確認テストおよび小テストを行い、単元の内容の定着度を測り、学習状況を把握する。 ・学力向上推進ティーチャーと連携し、生徒の理解度に応じて授業の難易度をあげる。
2年	・計算力向上を含む、基本的な知識・技能の定着 ・基礎的な知識・技能を活用して、数学的思考力を必要とする問題に取り組む力	・継続的な学習ができておらず、定着が不十分である。 ・基本的な計算に苦手意識をもっている生徒が多い。 ・数学的な思考力を必要とする問題を解けない生徒が多い。	・単元ごとに確認テストを行い、基礎的な知識及び技能の定着を図り、学習状況を把握する。 ・学力向上推進ティーチャーと連携し、考えることを重視し、思考力が付くような授業展開を行う。
3年	・反復練習での基礎的・基本的な計算力の向上や基本的な知識の理解と定着の徹底 ・筋道を立てて考え、問題解決のための指導や思考力・判断力・表現力等の能力向上のために、考えや説明の言語化をして理解を深めていく力	・授業内では理解しているが家庭学習などの継続的な学習ができないため定着に不安がある。 ・計算問題は理解してる生徒が多いが、基礎的な知識問題ができていない。 ・数学的な理解力・推理的思考力・説明力が苦手な生徒が多い。	・定期的に小テストや単元テストを行い、基礎的な知識技能の定着を図るとともに、学習状況を把握する。 ・計算過程を書くことを徹底することで計算力とともに原理やルールの理解につなげる。 ・グループ活動を充実させ、図やグラフの読み取りから考えたことや説明する機会を増やす。